



県高校新人大会

県高校新人大会は1月12、13日に呉オークアリーナで開かれ、山陽が初の男女優勝を飾った。
男子の山陽は、初戦から快調に勝ち進み、決勝では向原との対決。久村、山下を軸に得点を決め、メンバー7人の向原を寄せつけず大差で初優勝を射止めた。

男子

他を寄せつけず

山陽、初の男女V

■県高校新人大会 男子成績■

【男子】
▽1回戦

呉工20 (8 - 2, 12 - 7)	9 城北
向原51 (27 - 1, 24 - 5)	6 呉高専
三津田26 (11 - 5, 15 - 8)	13 賀茂
修道27 (11 - 4, 16 - 4)	8 桜が丘
西条農22 (9 - 8, 13 - 5)	13 呉港
広25 (12 - 9, 13 - 6)	15 祇園北
宮島工23 (9 - 2, 14 - 9)	11 如水館
山陽30 (18 - 5, 12 - 5)	10 廿日市

▽準々決勝

向原30 (15 - 8, 15 - 10)	18 呉工
修道20 (10 - 8, 6 - 8)	7 MTC
広20 (10 - 8, 10 - 11)	19 西条農
山陽31 (17 - 0, 14 - 10)	10 宮島工

▽準決勝

向原22 (11 - 11, 11 - 9)	20 修道
山陽25 (15 - 4, 10 - 6)	10 広

▽3位決定戦

修道24 (14 - 6, 10 - 12)	18 広
------------------------	------

▽決勝

山陽27 (13 - 5, 14 - 7)	12 向原
-----------------------	-------

《男子決勝》

【向原】	【山陽】	得点
中政 山根 古宝 小	広山 塚金 福今 岡野 天塚 垣井 引光	得点
5 3 2 1 1 0	0 9 6 4 0 3 0 4 0 1 0 0 0	得点

4校が参加した女子は、中国高校選抜予選、インターハイ県予選に続き3度目の山陽対桜が丘の対決となった。山陽は島、土居を中心にゴールを逃がれず、4連覇(4度目)した。

《女子決勝》

【桜が丘】	【山陽】	得点
花月 苗菜 萌沙 花 留菜	遠聖 太矢 丞 朗 佑 悠 輝 郎 太 介 太 優	得点
0 2 4 2 4 2 6	1 0 2 2 4 2 4 2 6	得点

25日に同会場での全国高校選抜大会県予選のシード権を獲得した。

《女子決勝》

得点

【山陽】	【桜が丘】	得点
大川 山口 山角 島 塩高 森 風 網 土 新	桜代 香彩 奈未 世月 優菜 侑加 梨	得点
3 2 0 8 2 0 0 0 0 0 0 6 1	1 3 2 0 8 2 0 0 0 0 0 6 1	得点

中国地区代表は男女ともHC岡山 日本選手権

名称が変更されて2年目となる日本選手権は12月20日から6日間、東京・エスフォルタアリーナ八王子(23日まで)と駒沢体育館(24、25日)で開かれる。
中国地区代表は男女とも昨年に続きHC岡山。男子は1回戦でインカレ1位の国士大と対戦する。女子は近畿地区代表(4日に決定)と初戦を戦う。
また、日本リーグ勢の湧永製菓は3回戦からの登場となり、大同大、東北福祉大、福岡大、北陸電力の勝者と顔を合わせる。
女子の広島メイプルレッズは2回戦からのスタートで、富士大と名古屋経大の勝者と対戦する。

2020東京オリンピックに向け強化を図る日本男子代表監督に、現在ドイツ代表監督で、リオ五輪の銅メダルに導いたダグル・シングルソン氏が就任する。
来年1月の世界選手権(フランス)まで指揮を執るカルロス・オルテガ監督のあと2月から始動する。
シングルソン氏はアイスランド出身で、現役時代はセンターとして活躍。アイスランド代表の主将を務め215試合に出場、397ゴールを挙げている。
2000年から03年までは日本リーグの古豪・湧永製菓でプレー、チームをリードし存在感を示した。

男子代表監督に シングルソン氏 独代表監督 湧永でプレー



任せたぞ...東京2010

女子

桜が丘 猛追も



■県高校新人大会 女子成績■

▽1回戦

山陽34 (19 - 5, 15 - 4)	9 賀茂
桜が丘30 (13 - 3, 17 - 4)	7 祇園北

▽3位決定戦

祇園北24 (12 - 12, 8 - 8)	2 賀茂
2 - 2, 2 - 1)	23 賀茂

▽決勝

山陽22 (12 - 8, 10 - 12)	20 桜が丘
------------------------	--------

高松大学長杯小学生大会 県選抜メンバー



第2回高松大学長杯小学生大会に出場する県選抜の選考会が11月12日日新製鋼呉体育館で開かれ、男女の選抜メンバーが決まった。男子は呉ジュニアHCと安芸高田HCが参加、女子は安芸高田HC、メイプルジュニアスポーツクラブ、福山ジュニアHC、スナッピーズの4クラブが対戦した。



■県選抜男子メンバー■

GK	木原颯太郎	呉ジュニア	音戸	4
	三橋 昊生	安芸高田	甲立	5
	太田 昂	呉ジュニア	莊山	5
CP	柳井 京	安芸高田	原	6
	下田 啓斗	安芸高田	向原	5
	今岡 慶太	安芸高田	甲立	5
	山崎 太陽	安芸高田	向原	5
	越智 遼介	安芸高田	東浄	6
	大田 一輝	安芸高田	小田東	5
	藤元 瑞	呉ジュニア	莊山	4
	東 藍樹	呉ジュニア	白岳	4
	中本 真正	安芸高田	東野	5
	姉ヶ山 明	安芸高田	小田東	5
	池田 庵二	呉ジュニア	莊山	4
	中元 温大	呉ジュニア	昭北	5
◎	河上由都輝	呉ジュニア	昭北	5

男子は2連覇に挑戦

男子は昨年に優勝を飾っており、2連覇にチャレンジする。大会は新春1月21、22日に香川県で行われる。

《県選考会成績》

【小学年男子】		
▽決勝	呉ジュニア12 (5-4, 7-5)	9 安芸高田
【小学年女子】		
▽1回戦	メイプル12 (8-0, 4-0)	0 スナッピーズ
	安芸高田14 (9-1, 5-4)	5 福山ジュニア
▽3位決定戦		
	福山ジュニア10 (2-0, 8-0)	0 スナッピーズ
▽決勝	安芸高田17 (6-3, 11-1)	4 メイプル

■県選抜女子メンバー■

GK	今中 紘	メイプル	己斐上	6
	丸井 ゆめ	安芸高田	小田東	6
CP	猪原 夢来	福山ジュニア	深津	6
	山本 結莉	安芸高田	甲立	4
	大立 好音	安芸高田	甲立	5
	花田 メイ	メイプル	東浄	6
	前川奈々美	安芸高田	小田東	5
	小先 芹奈	安芸高田	小田東	6
	中村 碧衣	安芸高田	向原	6
	山田 連珠	安芸高田	甲立	6
◎	田中 志織	安芸高田	小田東	6
	井上 梨奈	福山ジュニア	深津	6
	倉岡 優美	メイプル	己斐上	6
	山下 菜花	メイプル	己斐上	5
	安楽 海心	メイプル	昭和西	5

(注) ◎は主将

琉球に逆転勝ちを収め、ファインプレー



チームメイトと湧永戦を観戦する李美京（前列左から3人目。顔写真も）



■湧永製薬 成績■年内終了まで

△24 (11-14, 13-10)	24 大崎電気
△20 (9-11, 11-9)	20 大同特殊鋼
●23 (7-19, 16-15)	34 琉球
○25 (16-8, 9-16)	24 トヨタ自
○30 (14-10, 16-14)	24 豊田合成
○24 (14-14, 10-9)	23 トヨタ紡織
●24 (13-15, 11-14)	29 トヨタ車体
○26 (11-13, 15-12)	25 北陸電力
○33 (14-12, 19-9)	21 大崎電気
●19 (7-9, 12-13)	22 大同特殊鋼
○28 (14-17, 14-10)	27 琉球

日本リーグ

日本リーグは11月26日で年内日程を終わった。男子は大同特殊鋼が首位に立っているが、1試合ごとに順位がめまぐるしく変わる大混戦模様が続く。湧永製薬は6勝2分3敗、勝ち点14で4位につけ、3年ぶりのプレーオフ出場に光が差し込んできた。6勝のうち4勝が1点差。厳しい競争を制している。

◆日本リーグ順位表◆ 第11週現在

※男子	試	勝	分	敗	勝点
①大同特殊鋼	12	10	1	1	21
②トヨタ車体	11	9	0	2	18
③大崎電気	11	7	2	2	16
④湧永製薬	11	6	2	3	14
⑤琉球	12	6	1	5	13
⑥豊田合成	12	5	1	6	11
⑦トヨタ自	11	3	2	6	8
⑧トヨタ紡織	12	1	1	10	3
⑨北陸電力	12	0	0	12	0
※女子					
①北國銀行	8	8	0	0	16
②オムロン	8	6	0	2	12
③三重	9	5	0	4	10
④メイプル	9	5	0	4	10
⑤ソニー	8	4	0	4	8
⑥HC名古屋	9	2	0	7	4
⑦飛騨高山	9	0	0	9	0

成田、残り1分決勝点

湧永製薬の今シーズン当面のテーマは、2年連続逃しているプレーオフへの進出。開幕2試合連続引き分け、琉球には大差の黒星。さらに岩手国体では初の初戦敗退と苦しい歩みが続いた。しかし、国体直後のミーティングがターニングポイントとなった。各選手が危機感を口々に訴え、思いをぶつけ合った。こうして迎えた豊田合成戦。そこまでの最多得点で2勝目を挙げた。トヨタ車体、大同特殊鋼には敗れたものの、大崎電気は今シーズン最多の33得点で完勝。年内・地元最終戦では追いかける展開ながら粘りを見せ、残り2分から好調の新名、成田のゴールで逆転勝ちにつなげた。特に同点の残り1分、強引な突っ込みから得点した成田。執念の決勝点だった。2月の再開が楽しみだ。

湧永、POに希望 地元最終戦逆転勝ち

メイプルに新しい仲間 韓国から李美京 ロンドン五輪代表

日本リーグ女子で激しい4強争いを続けているメイプルレッズに頼もしい仲間が加わり、23日からの日本選手権でデビューする。ロンドン五輪の韓国代表でセンター李美京（イ・ミギョン）25歳。2007年のアジアユース選手権（U-18）で代表デビュー。世界ユース選手権、アジアジュニア選手権に出場。20歳でロンドン五輪代表に選ばれ、昨年はユニバーシアード大会にも出場した。韓国リーグでは2010年から元メイプルレッズで指揮を執った林五卿が監督のソウル市庁でプレー。2014年に大邱市庁に移り、今シーズンまで在籍した。メイプルレッズの金明恵監督は「手首が強く、シュート力もある」と話し、日本選手権、日本リーグでの活躍に大きな期待を寄せている。

女子のプレーオフは3月25、26日に

日本リーグ女子のプレーオフ日程が3月25、26日に変更になった。12月に予定されていたアジア選手権が3月中旬に変更されたため。会場は熊本市のアクアドームくまもと。なお、男子のプレーオフは予定通り3月18、19日に駒沢体育館である。